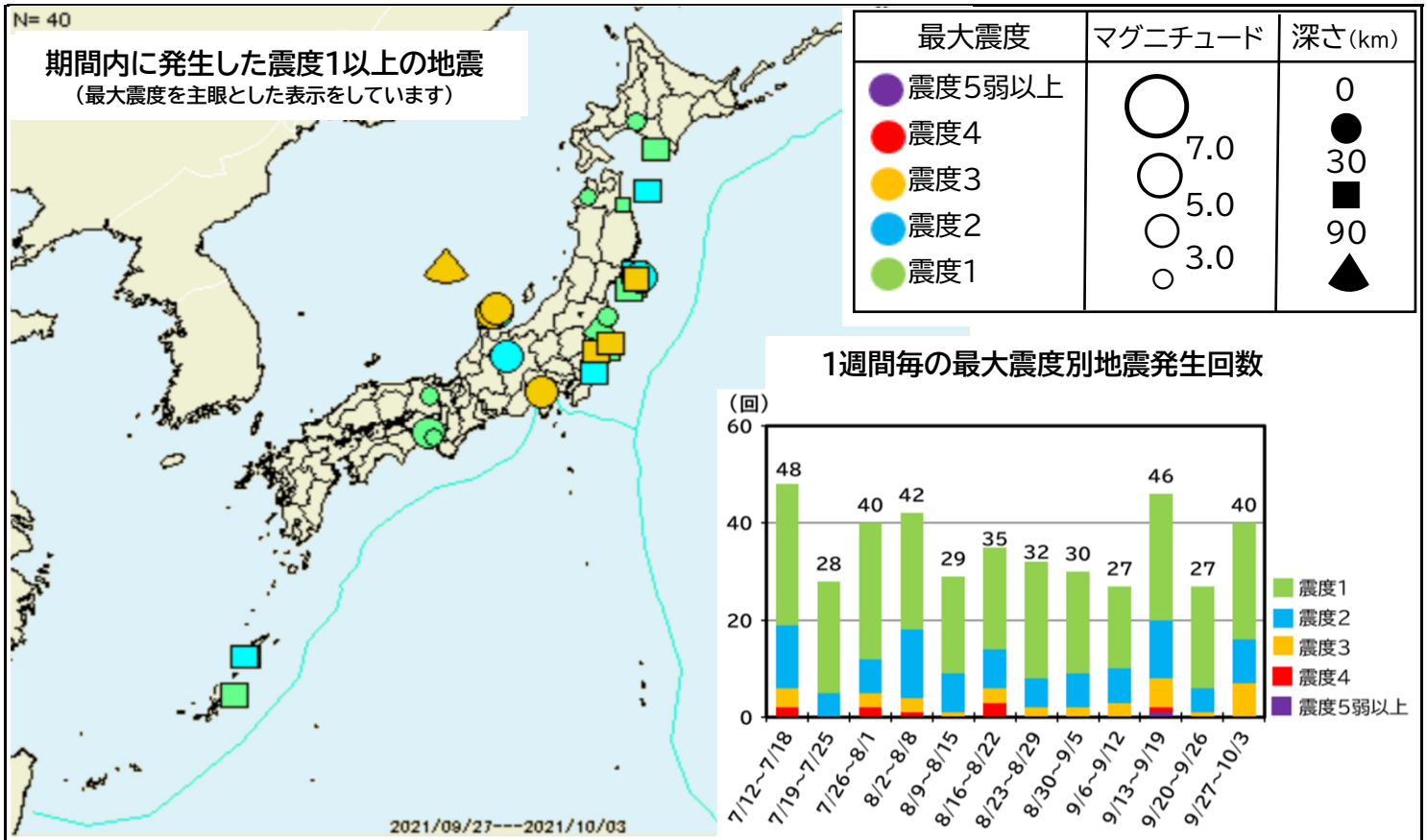


この期間の最大震度は3(震度3が7回発生)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が40回発生。最大震度は3。
- この期間、最大震度4以上を観測する地震はなかったが、最大震度3を観測した地震が7回発生した。
- 29日17時37分に日本海中部で発生した地震(M6.1、深さ394km)により、北海道から茨城県の太平洋側および埼玉県で震度3を観測したほか、北海道から東北地方の太平洋側および石川県、静岡県などの広い範囲で震度2~1を観測。この地震は太平洋プレート内部の深い(394km)ところで発生した。この地震は震央付近よりも離れた地域で大きな揺れを観測しており、この現象は「異常震域」と呼ばれている(トピックス参照)。
- 29日23時39分に静岡県東部で発生した地震(M3.5、深さ6km)により静岡県小山町で震度3を観測したほか静岡県、山梨県、神奈川県、東京都で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型の地震。
- 3日11時11分に石川県能登地方で発生した地震(M4.3、深さ10km:速報値)により、石川県珠洲市と能登町で震度3を観測したほか、新潟県~福井県にかけて震度2~1を観測。この近辺では昨年12月頃から地震活動が活発化する傾向が見られており、本期間、この地震を含め震度3が2回、震度2が1回、震度1が4回発生した。

トピックス

異常震域と深発地震

- 29日、日本海中部で深さ394km、M6.1の地震がありました(図1)。
- 一般的に、地震の揺れは震央に近い場所ほど大きく、震央から離れるほど小さくなります。しかし、深い場所で発生する地震(“深発地震”ともいう)では、震央に近い場所より遠く離れた場所の方が大きく揺れる場合があります。
- 深発地震の場合、震源に近い真上の地表に伝わる地震波は、減衰しやすい領域を通るために揺れが弱まって伝わります。一方で、太平洋側には、地震波が減衰しにくい太平洋プレートを通して伝わるために揺れがあまり弱まりません。
- その結果、震央に近い場所よりも遠く離れた太平洋側で震度が大きくなります。この現象は「異常震域」と言われています(図2)。
- “異常”という文字が入っていますが、何か異常なことが発生している訳ではなく、今回のように深い所で発生した地震では“通常”発生する現象です。
- このような深発地震は、震源が深いため、津波を発生させるために必要な海底での上下方向のずれが生じることはないので、大きなマグニチュードでも津波が発生することはありません。

